

区内保育施設
在園児童の保護者の皆様へ

世田谷区 保育部長 知久 孝之

令和2年7月1日以降の保育の対応について

日頃より、世田谷区の保育行政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

区では、5月26日（火）に「緊急事態宣言解除に伴う令和2年6月1日以降の保育の対応について」を出させていただき、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6月末までの登園の自粛をお願いしてまいりました。この間、登園を控える等ご協力いただき、誠にありがとうございます。

7月1日以降の対応につきまして、下記のとおりまとめましたので、ご確認ください。

記

1 今後の保育所等運営の考え方について

区では、保育施設におけるこれまでの取り組みにより、感染拡大が抑えられてきたことを踏まえ、区内での感染者数の動向や保育所等の対応など感染状況に応じた保育対応レベルを別紙のとおり定めました。今後は、この保育対応レベルに基づき、対応をしていくことといたします。

2 令和2年7月1日からの保育について

7月1日以降につきましては、現時点での移行判断の目安に照らし、新たな区内感染者の増加が抑えられているため、登園自粛の要請を解除し、「保育対応レベル1 通常保育に向けた段階的な保育」に移行し、その期間を令和2年8月31日までといたします。

引き続き、感染リスクを最小限にとどめ、保育施設の「密」を極力回避するために、ご家庭での保育が可能な方、保育時間の短縮が可能な方につきましては、可能な範囲でご協力をお願いいたします。

ご家庭での保育のご協力をお願いさせていただくにあたりましては、7月末まで保育料の減免を継続するとともに、育児休業からの復職期限を10月末まで延長いたします。また、区長から保護者の勤務先事業者様あてに協力依頼文「世田谷区の新しい日常における保育へのご協力のお願い」を作成しておりますので、ご活用ください。

3 保護者の皆様へのお願い

- ・登園前にお子様の体温を計測し、発熱や咳等の症状がある場合は登園を控え、自宅で休養を取り、体調が回復してから登園してください。また、解熱後24時間以上が経過し、呼吸器症状が改善傾向となるまでは、登園はお控えください。
- ・保護者の方で咳や発熱等の症状がある場合は、送迎を行わないでください。
- ・送迎の際はマスクの着用、施設内に入るときの手指消毒をお願いします。
- ・ご家族に体調不良の方、新型コロナウイルス感染症の疑いのある場合や検査の対象にな

った場合は、お通いの園にお知らせいただき、検査結果もお伝えください。

- ・別紙「新型コロナウイルス感染予防引き続きのご協力をお願いします」もぜひ、ご覧ください。

4 認可保育園等の保育料等について

7月分の保育料及び区立園の延長保育料・給食費につきましては、徴収は行わず、登園（利用）日数に基づき日割りで算出した額を10月末に徴収します。なお、これら保育料等の日割り対応は7月末をもって終了します。

詳しくは区ホームページをご確認ください。

【区ホームページ掲載場所】

トップページ>目次から探す>子ども・教育・若者支援>保育>保育園の申込み等について>入園のご案内>新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う認可保育園等の保育料等の取扱い

保育料、延長保育料、給食費を直接施設にお支払いいただいている場合の詳細な手続き等については、ご利用の施設にお問い合わせください。

5 育児休業等復帰時期の延長やお子さんの欠席期間について

(1) 【4月以降入園者のみ】保護者の育児休業等復帰時期の延長について

令和2年4月以降認可保育園等へ入園し、現在、育児休業等を取得している方の復職の時期について、これまで7月31日（金）までとしておりましたが、10月31日（土）までに延長いたします。なお、外勤の方は復職後、2週間以内に「復職証明書」を入園担当あてご提出ください。10月末日までに提出できない場合は、事前に入園担当あて（03-5432-1200）ご連絡ください。

(2) 育児休業等復帰予定者のお子さんの保育料、区立の延長保育料・給食費について

育児休業等復帰予定者のお子さんの保育料等については、7月分までは登園（利用）日数に応じて保育料等を算定、8月、9月分においては該当月に1日も登園（利用）しなかった場合のみ全額免除し、1日でも登園（利用）した場合は1か月分の保育料等を徴収します。

10月分以降については、通常のとおり登園（利用）の有無、日数に関わらず1か月分の保育料等を徴収いたします。

※育児休業からの復職予定者以外のご家庭の取り扱いとは異なります。ご注意ください。

(3) 保育園を継続して欠席できる期間について

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、欠席できる期限を欠席開始日に関わらず2か月を超えても7月末日までとしておりましたが、10月末日まで延長いたします。

なお、9月1日以降の日から里帰り出産やお子さんの入院等で継続して欠席する場合は、欠席開始日から起算して最大2か月まで欠席できます。

6 添付文書

「別紙 感染状況に応じた保育の対応」

「世田谷区の新しい日常における保育へのご協力をお願い」

「新型コロナウイルス感染予防引き続きのご協力をお願いします」

【担当】

区立保育園に関すること 電話 03-5432-2319

私立保育園に関すること 電話 03-5432-2320

認定こども園・地域型保育事業に関すること 電話 03-5432-2334

認可外保育施設に関すること 電話 03-5432-2313

上記4、5に関すること 電話 03-5432-1200

感染状況に応じた保育の対応

保育対応レベル	移行判断の目安	登園のあり方 登園率目安	家庭保育 支援	保育の状況等
レベル 3	新たな区内感染者が著しく増加し、区内において、保育施設等の休園が同時期に複数園発生	休園措置（応急保育） 強い登園自粛要請 5% 25%	保育料減免 育休復帰延長	「新しい日常における保育」 ◎ 社会生活維持者等への応急保育
レベル 2	新たな区内感染者が減少し、感染経路を追えているなどの状況を踏まえ、レベル3から概ね1～2か月経過後	登園自粛要請 40% ～60%		◎ 規模を縮小した保育（縮小保育）
レベル 1	新たな区内感染者の増加が抑えられ、レベル2の状況から概ね1か月程度経過後	家庭保育協力のお願 ◎ 登園日数の減 ◎ 保育時間短縮 70% ～90%		◎ 通常保育に向けた段階的保育 〈R 2.7.1～R 2.8.3 1に限る〉
レベル 0		90% ～100%		◎ 通常保育 感染予防と保育の質を両立し、子ども一人ひとりの心身に健全な成長と発達を保障する。

感染拡大期

現在★

◆今後、区の感染状況に応じて、移行判断の目安や登園のあり方等を変更する可能性があります。

◆園において感染者が確認された場合は当該園の休園措置を検討いたします。

令和2年6月22日

区内認可保育園等に園児が在籍する保護者の
勤務先事業者の皆様

世田谷区長 保坂 展人

世田谷区の新しい日常における保育へのご協力をお願い

日頃より、世田谷区の保育行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区内保育所等においては、この間、保護者勤務先事業者様のご協力をいただく中で、休園措置や規模を縮小した保育を行ってきており、現在も勤務先事業者様との調整等により、仕事を休んで家にいることが可能な保護者に対して登園の自粛を6月30日までを目途に要請しているところです。事業者の皆様はこの間のご理解とご協力にあらためて感謝申し上げます。

7月1日以降におきましても、区は、園児をはじめ保育関係者の安全の確保を最優先に、できる限り感染リスクの低減を図りながら、段階的な保育を行ってまいります。新しい日常における保育を構築していく途上において、引き続き、勤務先事業者様との調整等により、仕事を休んで家にいることが可能な保護者や、在宅勤務により保育時間の短縮が可能な保護者、育児休業されている保護者等へ、できるだけ登園を控えていただく協力をお願いすることといたしました。

保護者の中には、集団保育による感染を心配されている方、特に育児休業明けの新規入園児については感染の不安を抱く方が多くいらっしゃいます。園児の保護者が勤務されている事業者の皆様におかれましては、長期間にわたるお願いとなり恐縮ですが、区の方針等の趣旨をご理解いただき、保護者への特段のご配慮を重ねてお願いいたします。

新型コロナウイルスとの闘いは、いまだ先の見通せない状況ではあるものの、区民、事業者、世田谷区が一丸となって取り組みを継続することにより、必ず乗り越えていくことができると思います。何卒、ご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染予防 引き続きのご協力をお願いします

令和2年6月22日

世田谷区 保育部

新型コロナウイルス感染予防のための自粛のお願いの期間中、自宅での保育にご協力を頂きましたことに心よりお礼を申し上げます。

各保育所等では、清掃・消毒の徹底、手洗いの励行、職員のマスク着用など今まで以上に衛生管理に努めております。本格的な登園再開後、保育園の登園人数も増えて、新たな保育生活が始まりました。引き続き、感染対策の徹底に努めてまいります。

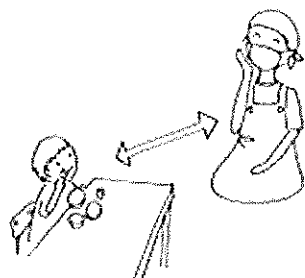
登園再開後には衛生管理の為に入室方法や支度等が変更になった園も多く、保護者の皆様にはご負担をおかけいたしておりますが、新型コロナウイルス感染予防のための新しい生活は今後もしばらくは続いていくものと思われまます。保護者の皆様の引き続きのご協力をよろしく申し上げます。

園で行っている感染症対策例

- ・入室時のアルコール消毒、保育室への保護者の入室制限。
- ・保育士のマスク着用。
- ・室内、玩具のこまめな消毒。
- ・室内換気、密を避けた室内遊具の設定。
- ・食事中の子ども同士の間隔を開けるため、時間差をつけての食事提供。
- ・保育室に午睡スペースを設けて分散するなど、広いスペースでの午睡。



など



※保育園の敷地にも限りがあり

全ての保育園で同じ対応ができるわけではありません。

新生活が始まったといっても、子ども達にとって保育園は今までと変わらずお友達や先生と楽しく生活できる場所です。衛生管理で安心安全な場所であり、心から安らげる場所であり続けたいと願う保育士、調理員、看護師、用務等、様々な方々が日々奮闘を続けています。

これから夏の暑さも本格的になりますが、今年の夏はいつもの夏にも増して感染予防のため、様々な制限での保育となります。保育時間の短縮（午前帰りや、登降園時間の短縮等）、ご協力いただける日の自宅保育など、これからも引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

